

山梨県立ろう学校 第2回 学校運営協議会

日 時：令和4年11月22日（火） 14：00～15：30

場 所：山梨県立ろう学校 文化交流会館 交流ホール

○学校運営協議会

《次第》司会 教頭

1 はじめの言葉（司会）

2 学校長あいさつ

- ・100周年記念式典が開催された。
- ・来月3日、関東地区聾教育研究会が開催される。
- ・コロナ禍であったが、中3の修学旅行、学園祭、対面での交流が実施された。
- ・貴重なご意見をいただけると幸いです。

3 学校運営協議会会長あいさつ

- ・創立100周年、おめでとうございます。準備が大変だったかと思いますが式典をはじめ、展示等、素晴らしいものでした。

4 学校運営協議会について

別紙資料をもとに学校評議員会との違いを川手教頭から説明。特に役割の違いについて確認された。

5 議事 【議長 会長】

（1）令和4年度ろう学校学校評価アンケート中間評価について（教頭）

- ・別紙より説明

○質問・意見

- ・Q. 研修会の数はどのくらいあるか。（自由記述からの質問）
A. 40～50程度。関聾研のため増えているが。
負担感があるのではないかという意見がある。
→映像として残していこうという取り組みをしている。
項目が多く、どこを見ていいかわからないところもあるが
- ・Q. 項目の数や内容を変更したものがあるか
A. 数を減らしてはいる。担当ごとに精査をしている。
もう少し減らしても良いと考えている。
- ・評価1や2のあるところは残し、評価が高い項目は検討してもよいのではないか。

（2）その他

6 報告

(1) 第2回いじめ実態アンケート調査について（生徒指導主事）

別紙より説明

- ・ Q. スクールカウンセラーが入ってきているのか
A. 心理士に相談した。
- ・ 中学校から多くなる事象。また、少人数だと怒りやす。
先生以外に相談できる人を増やしていけると良いのでは。

(2) ろう学校交流及び共同学習について（渉外交流主任）

資料及びパワーポイントで説明

- ・ Q. 大学との交流があったのか。
A. 介護等体験で交流ができています。
- ・ 生徒にとってかけがえのない交流となっている。

7 連絡事項

(1) 次回の予定 2月22日（水） 第3回 学校運営協議会

(2) その他

8 意見・懇談（各委員の方々から）

- ・ 議事録議事があった方が良いのではないかと。
- ・ ろう学校の幼児生は普段接していない人と交流できているように感じる。
交流は増やさなくて良いので、その中身を大切にしたい。
- ・ ろう学校の地域を歩くことで、いろいろなことを知ることができるのでは。
- ・ 駅周辺の整備が進んでいる。歩道も整備されている。通学路も検討してもよいのではないかと。
- ・ 人と人とのコミュニケーションが大切であると感じた。生徒同士の普段のコミュニケーションを大切にしたい。
- ・ たくさんの交流をしていると感じた。進路と絡めることができると良いのではないかと。
- ・ 地域を含め多くの学校をしていることは卒業後につながる
- ・ いじめの対応が長期化している際は、外部の力を借りることも大切。
- ・ 部活動が活発になると良い。美術部の活動が少ない。
- ・ いじめがあるのが驚いた。少ない仲間を大切にしていって気持ちを育てたい。
- ・ いじめを受けていたが、先輩たちが助けてくれた。自分でがんばって乗り越えた経験がある。少人数で厳しいので、どんなことができるか考えさせられる。思春期を迎えている。友達は永遠である。大切にしたい。
- ・ 交流における聴こえにくい幼児生の情報保障はどのようになっているのか。
→基本的には本校の職員が通訳。過去には交流先で手話のできる先生がいた。交流先の子どもが手話を覚えて話すこともあった。
- ・ ろう学校が聴こえない人が集まって話す場となってもよい。そういう場を作りたい。

9 閉会の言葉（司会）